

視点ごとの修正箇所一覧（視点②：掲載内容の時点修正）

修正箇所			修正前	修正後	修正理由
NO.	頁	位置			
①	2	下段	「大分県長期総合計画」	「大分県長期総合計画」(平成27年10月策定)	☆策定月日記載
	”	”	「新大分県総合教育計画」	「大分県長期教育計画」(平成27年度中に策定予定)	☆年度内に策定予定の新計画名に変更
②	5	上段	①スポーツを通じた“健康・体力・人づくり” ○本県児童生徒の体力では、平成26年度の体力合計点から見る全国順位が、小5男子9位、小5女子13位、中2男子18位となり全国平均を上回るなど、改善が見られます。	①スポーツを通じた“健康・体力・人づくり” ○本県児童生徒の体力では、平成27年度の体力合計点から見る全国順位が、小5男子8位、小5女子10位、中2男子11位、中2女子23位となるなど、改善が見られます。	☆最新データに更新
			②誰にもスポーツに親しめる“活動の場づくり” ○日常的な活動の場となる総合型クラブは、平成26年7月時点で42クラブが全市町村が1つ以上育成され、県民の約1.4%にあたる約1万6千人が様々な活動に参加しています。	②誰にもスポーツに親しめる“活動の場づくり” ○日常的な活動の場となる総合型クラブは、平成27年7月時点で42クラブが全市町村が1つ以上育成され、県民の約1.4%にあたる16,866人が様々な活動に参加しています。	☆最新文科調査にデータ更新
③	10	上段	「平成26年度大分県児童生徒の体力・運動能力等調査」と、「平成25年度文部科学省体力・運動能力調査」の結果比較をしたところ、多くの項目で全国平均を下回っており、中でも中学生、高校生が顕著です。(表1参照) また、子どもの体力がピークであったとされる昭和61年と平成26年の調査結果を比較すると、例えば、50m走11歳男子で0.16秒、11歳女子で0.25秒遅くなっているなど、現在の子どもの親世代に比べて明らかに体力が低下していることがわかります。(表2参照)	「平成27年度大分県児童生徒の体力・運動能力等調査」と、「平成26年度文部科学省体力・運動能力調査」の結果比較をしたところ、多くの項目で全国平均を下回っており、中でも中学生、高校生が顕著です。(表1参照) また、子どもの体力がピークであったとされる昭和61年と平成27年の調査結果を比較すると、例えば、50m走11歳男子で0.13秒、11歳女子で0.22秒遅くなっているなど、現在の子どもの親世代に比べて明らかに体力が低下していることがわかります。(表2参照)	☆公表されている最新の文科及び本県の調査データに更新

視点ごとの修正箇所一覧（視点②：掲載内容の時点修正）

NO. 2

修正箇所			修正前	修正後	修正理由
NO.	頁	位置			
③	10	上段	<p>小学校5年生と中学校2年生を対象に行われた平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、本県の子どもたちの運動実施状況は、よく運動する子どもとそうでない子どもの二極化が見られました。</p> <p>また、朝食を毎日食べる割合は、小5男子が85.6%、小5女子が86.9%、中2男子が85.3%、中2女子が83.4%といずれも全国平均を下回っています。さらに、睡眠時間が6時間未満の割合は、小5男子が8.8%、小5女子が5.0%、中2男子が12.8%、中2女子が17.7%であり、睡眠時間が不足している児童生徒の割合が全国平均を上回っています。</p>	<p>小学校5年生と中学校2年生を対象に行われた平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、本県の子どもたちの運動実施状況は、よく運動する子どもとそうでない子どもの二極化が見られました。</p> <p>また、朝食を毎日食べる割合は、小5男子が83.5%、小5女子が82.7%、中2男子が82.2%、中2女子が79.7%といずれも全国平均を下回っています。さらに、睡眠時間が6時間未満の割合は、小5男子が5.6%、小5女子が2.9%、中2男子が10.7%、中2女子が15.0%であり、睡眠時間が不足している児童生徒の割合が全国平均を上回っています。</p>	<p>☆公表されている最新の文科及び本県の調査データに更新</p>
④	14	中段	<p>成人全体の定期的なスポーツ実施率は、40.5%で、前回調査の29.8%より約10ポイント向上していますが、平成24年度に文部科学省が調査した<u>全国平均(47.5%)</u>に比べて7ポイント低い状況です。</p>	<p>成人全体の定期的なスポーツ実施率は、40.5%で、前回調査の29.8%より約10ポイント向上していますが、<u>国の目標値(65%程度)</u>と比較すると、依然低い状況にあります。</p>	<p>☆文科調査の実施率が低下したことに伴う表現の修正</p>
⑤	16	上段	<p>また、本県の平成22年の平均寿命の全国順位(厚生労働省発表)は、男性(80.06年)8位、女性(86.91年)9位と<u>長寿県の一つ</u>となっていますが、<u>健康寿命^{※1}</u>は、<u>男性(69.85年)39位、女性(73.19年)34位</u>となっており、医療費や介護費用を削減し、元気に過ごすため、生活習慣の改善や運動習慣の定着を促進する健康寿命を延伸する取組が必要です。</p>	<p>また、本県の平成22年の平均寿命の全国順位(厚生労働省発表)は、男性(80.06年)8位、女性(86.91年)9位と<u>長寿県の一つ</u>となっています。一方、<u>健康寿命^{※1}(H27厚生労働科学研究「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用効果に関する研究報告書」)</u>は、<u>男性(71.56年)16位、女性(75.01年)10位</u>となっており、医療費や介護費用を削減し、元気に過ごすため、生活習慣の改善や運動習慣の定着を促進する健康寿命を延伸する取組が必要です。</p>	<p>☆健康寿命に関する記述を最新の厚労省発表のデータに更新</p>

視点ごとの修正箇所一覧（視点②：掲載内容の時点修正）

NO. 3

修正箇所			修正前	修正後	修正理由
NO.	頁	位置			
⑥	16	中段	<p>また、平成16年度から2年間にわたり関係NPO法人と連携し「高齢者のためのスポーツ活動推進モデル事業」を実施し、運動プログラムの開発や指導マニュアルの作成、また、指導者の養成に取り組んできました。指導者の養成については関係NPO法人が引き続き取り組んでおり、平成27年1月現在、320人が知事認定のヘルスサポートトレーナーとして社会福祉施設や公民館等で活躍しています。</p>	<p>また、平成16年度から2年間にわたり関係NPO法人と連携し「高齢者のためのスポーツ活動推進モデル事業」を実施し、運動プログラムの開発や指導マニュアルの作成、また、指導者の養成に取り組んできました。指導者の養成については関係NPO法人が引き続き取り組んでおり、平成28年1月現在、335人が知事認定のヘルスサポートトレーナーとして社会福祉施設や公民館等で活躍しています。</p>	<p>☆本年度の資格認定で新たに15名が追加されたことに伴う変更</p>
⑦	22	上段	<p>現在、本県では、全市町村において合計42の総合型クラブが育成され、約16,000人の会員が地域の実情に応じた特色ある活動を展開しており、既に13クラブがNPO法人格を取得しています。</p>	<p>現在、本県では、全市町村において合計42の総合型クラブが育成され、16,866人の会員が地域の実情に応じた特色ある活動を展開しており、既に13クラブがNPO法人格を取得しています。</p>	<p>☆最新文科調査にデータ更新</p>
⑧	37	上段	<p>県は、平成24年に行財政運営の長期的、総合的な指針となる「<u>安心・活力・発展プラン2005</u>」改訂版を策定しました。それを受け、県の関係部局は部門別の実施計画を策定し、高齢者の健康・体力づくりの推進、スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進、子どもの体力向上の推進やトップレベルの競技者の育成など、各種施策を推進しています。</p>	<p>県は、平成27年に行財政運営の長期的、総合的な指針となる「<u>安心・活力・発展プラン2015</u>」を策定しました。それを受け、県の関係部局は部門別の実施計画を策定し、高齢者の健康・体力づくりの推進、スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進、子どもの体力向上の推進やトップレベルの競技者の育成など、各種施策を推進しています。</p>	<p>☆県長計が平成27年10月に改訂されたことに伴う変更</p>

視点ごとの修正箇所一覧（視点③：委員会委員からの指摘事項）

NO. 1

修正箇所			指摘内容	対応	修正理由
NO.	頁	位置			
①	1	中段	「国際的なスポーツ大会の開催などの <u>スポーツ交流を、地域活性化に繋げる取組</u> を行っており」部分の「を」の重複の解消	→①「国際的なスポーツ大会開催によるスポーツ交流を、地域活性化に繋げるよう取り組んでおり」という文章に変更	☆読みやすい文書への変更
②	3	中段	「また、スポーツの意義や価値を共有し、より多くの人々がスポーツの <u>楽しさや感動を分かち互いに支え合う</u> 「新たなスポーツ文化」の確立をめざしていくことが必要です。」部分の、「楽しさや感動を分かち」と「互いに支え合う」の間に句読点を挿入	→②句読点を挿入	☆読みやすい文書への変更
③	4	上段 中段	【図1】及び【図2】に関して、①「全体」「男性」「女性」の軸項目を縦書きに、②要素ごとの色分けを明確に、③グラフの幅を文章の幅いっばいにそれぞれ修正	→③原稿を入稿段階で業者に内容を伝え、指摘を反映	☆見やすいレイアウトへの変更
④	5	中段	③スポーツを推進する“システムづくり” 1つ目の○、文中「全国から約2万7千人の高校生を <u>迎え29競技を実施しました。</u> 」の「高校生を迎え」と、「29競技を」の間に句読点を挿入	→④句読点を挿入	☆読みやすい文書への変更
⑤	8	全体	体系図における 項目別テーマ 部分、各枠内の右側の余白を削除	→⑤原稿を入稿段階で業者に内容を伝え、指摘を反映	☆他部分との統一
⑥	9	中段	体系図における 活動の場づくり 部分、 具体的な取組（抜粋） 、2つ目の○、「青・壮年期」の後の「スポーツイベントの充実」を記載	→⑥「スポーツイベントの充実」の文言を追加	☆本文中の具体的な取組の表記と統一

視点ごとの修正箇所一覧（視点③：委員会委員からの指摘事項）

NO. 2

修正箇所			指摘内容	対応	修正理由
NO.	頁	位置			
⑦	1 2	下段	③運動部活動の充実 3つ目の○、文中「団体競技を中心に <u>運動部活動の継続が困難な状況があることから</u> 」部分の「が」の重複を解消	→⑦「団体競技を中心に <u>運動部活動の継続が困難な状況にあることから</u> 」という文章に変更	☆誤記の訂正
⑧	1 3	上段	④子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実 1つめの○、文中「 <u>生涯を通じてスポーツに親しむための発達段階に応じた</u> ・・・」部分の「む」と「ため」の間のスペース削除	→⑧スペースを削除	☆誤記の訂正
⑨	1 3	中段	④子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実 3つめの○、文中終盤「 <u>子どもの指導に関する理念の共通理解する場の設定に努めます。</u> 」部分の、「理念の共通理解する」を「 <u>理念を共通理解する</u> 」に変更	→⑨「 <u>理念を共通理解する</u> 」に変更	☆誤記の訂正
⑩	1 3	中段	【大分県スポーツ少年団外傷・ <u>障害</u> 予防担当者養成講習会】を、【大分県スポーツ少年団外傷・ <u>障がい</u> 予防担当者養成講習会】に修正	→（修正せず）	☆研修会の固有名称のため
⑪	1 7	中段	（3）具体的な取組 ①のタイトル部分、「 <u>高齢者の健康・体力づくり</u> の推進」を、「 <u>高齢者の健康・体力づくり</u> の推進」に変更	→⑩「 <u>高齢者の健康・体力づくり</u> の推進」に変更	☆誤記の訂正
⑫	1 8	上段	「 <u>ノーマライゼーション社会</u> ^{*1} 」の注釈を、19頁から18頁、（1）現状と課題の末尾に移動	→⑪18頁、（1）現状と課題の末尾に移動	☆他の注釈と同様に、記載部分の末尾で統一

視点ごとの修正箇所一覧（視点③：委員会委員からの指摘事項）

NO. 3

修正箇所			指摘内容	対 応	修正理由
NO.	頁	位置			
⑬	19	上段	「大分県障害者スポーツ指導者協議会」を、「大分県障がい者スポーツ指導者協議会」に修正	→（修正せず）	☆協議会の固有名称であるため
⑭	19	上段	「中級障害者スポーツ指導員等」を、「中級障がい者スポーツ指導員等」に修正	→⑫「中級障がい者スポーツ指導員等」に表記を修正	☆（公財）日本障がい者スポーツ協会 <small>スポーツ</small> の資格名に準じて変更
⑮	20	中段	（1）現状と課題 中盤文章、「その結果、都道府県男女総合成績で優勝を果たすなど、本県の競技力向上に <u>大きな成果を上げました。</u> 」部分の「上げました」を、「挙げました」に修正	→⑬「挙げました」に修正	☆誤記の修正
⑯	26	中段	「スポーツツーリズム ^{*1} 」の注釈を、26頁の最下段から同頁の（2）目標の末尾に移動	→⑭26頁の最下段から同頁の（2）目標の末尾に移動	☆他の注釈と同様に、記載部分の末尾で統一
⑰	28	中段	「①ラグビーワールドカップ2019の開催とレガシーの創造」部分のレガシーに注釈を挿入	→⑮「大会開催によって生み出される長期にわたるプラス面の影響」という注釈をP29に挿入	☆読む人に理解しやすい構成への配慮
⑱	39	下段	（3）具体的な取組 ③の冒頭文後半部分、「次に示す各センター機能の在り方について、調査・研究を行います__。」 「す」と「。」の間のスペースを削除	→⑯スペースを削除	☆誤記の訂正

視点ごとの修正箇所一覧（視点③：委員会委員からの指摘事項）

NO. 4

修正箇所		指摘内容	対応	修正理由
NO.	頁 位置			
⑬	4 1 中段	<p>（1）現状と課題</p> <p>終盤の、「日本経済の低迷、県予算の厳しい財政事情など、不安定な社会状況が続く中、本計画に掲げる施策を長期的・安定的に推進するには、<u>県と市町村が、それぞれの役割を踏まえ所要の財政上の措置を講じていく必要があります。</u>」部分、「市長村が」と「それぞれ」の間の句読点を削除し、「役割を踏まえ」と「所要の財政上の」の間に句読点を挿入</p>	<p>→⑬「日本経済の低迷、県予算の厳しい財政事情など、不安定な社会状況が続く中、本計画に掲げる施策を長期的・安定的に推進するには、<u>県と市町村がそれぞれの役割を踏まえ、所要の財政上の措置を講じていく必要があります。</u>」に変更</p>	<p>☆読みやすい文書への変更</p>